



神奈川県

<http://www.pref.kanagawa.jp/>

2022/10/26 SDGs パートナーミーティング



神奈川県のプラごみゼロに向けた取組み

環境農政局 資源循環推進課

- 1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題**
- 2 かながわプラごみゼロ宣言**
- 3 プラごみ削減に向けた県の取組み**
- 4 条例の改正と計画の策定**
- 5 プラスチック資源循環法の施行**

1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題

廃棄物を取り巻く状況



もし、世界の人全て、今の日本と同じような生活をした場合は、**地球2.8個分の自然資源が必要**

(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWFジャパン) HPより)



- できるだけ廃棄物を出さず
- 廃棄物を有効な資源として循環的に利用する

「循環型社会」づくりが必要

1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題

【神奈川県循環型社会づくり計画】

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく法定計画であり、資源循環の推進に取り組んでいく行動計画

基本理念 (神奈川県の目指す姿)

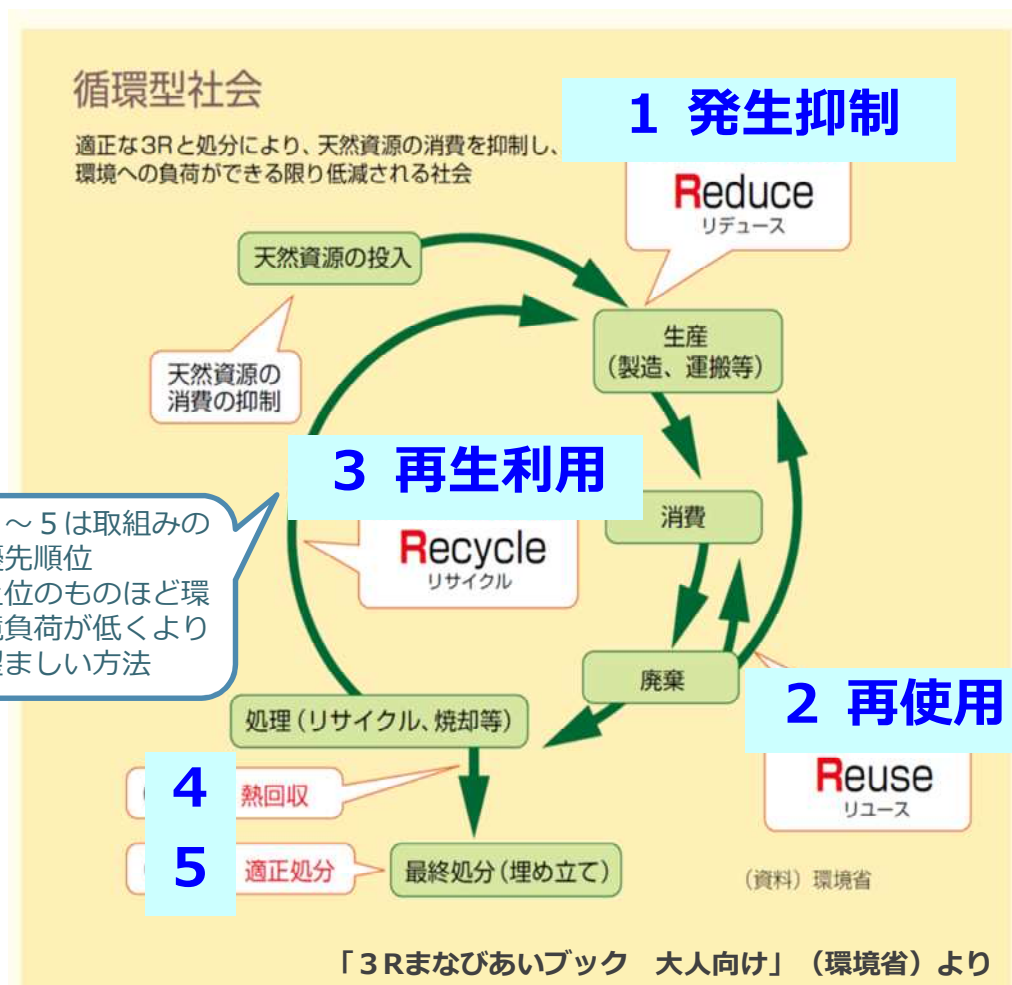
個々の県民や事業者にとって不要なものであっても、社会全体としては有用なものとして生かし、すべてのものが資源として循環することによって「廃棄物」と呼ばれるものがゼロになるような社会を目指す。

循環型社会の最終目標
= 「廃棄物ゼロ社会」

→ **3 R**※の推進が必要

- ※ **リデュース(発生抑制)**
- リユース (再使用)**
- リサイクル(再生利用)**

Kanagawa Prefectural Government



1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題

【プラスチックごみ問題とは】

不適正な管理等により**海洋に流出したプラスチックごみによる環境問題**

2015年6月のG7エルマウ・サミットにおいて世界的課題であることを初めて提起

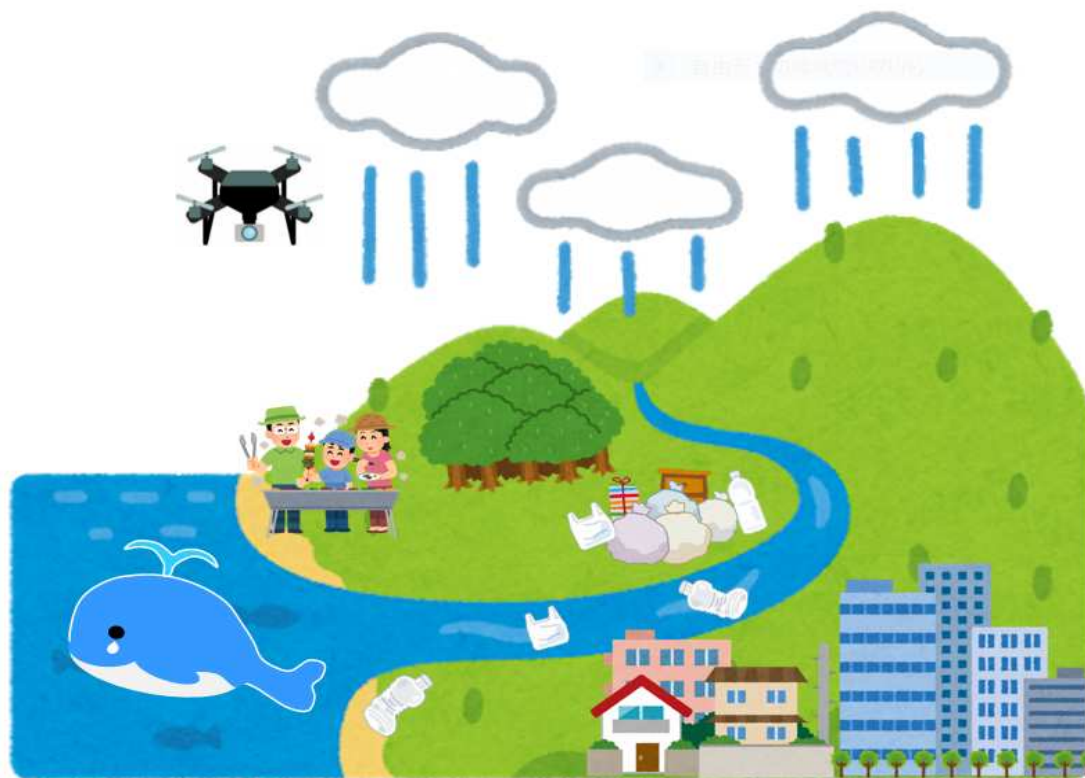
【懸念される影響】

生態系を含めた海洋環境の悪化、景観への悪影響、船舶航行の障害、漁業や環境への影響など

海に流出したプラごみは波や紫外線などによって砕かれ小さいかけらとなり**回収が困難**になってしまう

大きいプラごみは・・・大型の海洋生物に誤食され、ダメージを与える
小さいかけらは・・・海水から化学物質を吸着、濃縮し、遠隔地へ輸送する
海洋生物に誤食等され、ダメージを与える可能性

1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題



海岸ごみの約7割は大雨等に伴い河川を通じて内陸から流れ出たものと推定されている。

➡ 川だけでなく、**道路や側溝も海の入り口**

1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題

脱炭素社会の実現のため、
プラスチックの資源循環を推進することが重要！

- プラスチックは**石油**から作られている
- プラスチックの製造過程やごみとなったプラスチックを焼却することで**CO2が発生**



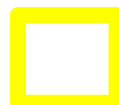
- **過剰な**プラスチック**使用をやめる**！
- 発生したプラごみは徹底的に**リサイクル**！
- 石油ではなく、カーボンニュートラルな**素材**で作られたバイオマスプラスチック等へ**転換**！

1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題

SDG S (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)

「誰一人取り残さない」 **持続可能でよりよい社会の実現**を目指す世界共通の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



プラスチックごみ問題に関連する主なゴール

目次

- 1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題
- 2 **かながわプラごみゼロ宣言**
- 3 プラごみ削減に向けた県の取組み
- 4 条例の改正と計画の策定
- 5 プラスチック資源循環法の施行

2 かながわプラごみゼロ宣言

- 2018（平成30）年8月
シロナガスクジラの赤ちゃんが
由比ガ浜海岸に漂着（国内初）

➡ 胃の中からプラスチック
片を発見



漂着したシロナガスクジラの赤ちゃん

（提供：（公財）かながわ海岸美化財団）

- 2018（平成30）年9月
全国初！「かながわプラごみゼロ宣言」を発表

目標

2030（令和12）年までのできるだけ早期に、
リサイクルされずに廃棄されるプラごみゼロを目指す



2 かながわプラごみゼロ宣言

宣言の目標達成のため、

2020（令和2）年3月に具体の行動計画である

「かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム」を策定！

3つの推進方策

1 ワンウェイプラの削減



- ・神奈川県ワンウェイプラ削減実行委員会の設立 等

2 プラごみの再生利用の推進



- ・ペットボトル3分別の徹底とモデル事業の実施 等

3 クリーン活動の拡大等



- ・行政、市民団体、企業によるクリーン活動の推進 等

- 1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題
- 2 かながわプラごみゼロ宣言
- 3 プラごみ削減に向けた県の取組み**
- 4 条例の改正と計画の策定
- 5 プラスチック資源循環法の施行

3 プラごみ削減に向けた県の取組み

プラごみゼロ宣言賛同企業等の募集

プラごみゼロに向けた取組の輪を広め、その取組を広く紹介するため、
プラごみゼロ宣言賛同企業等を募集

- 【募集対象】 次の要件を満たす企業・団体・学校
- ①「かながわプラごみゼロ宣言」の趣旨に賛同し、プラごみゼロに向けた取組みをしている、又は実行する
 - ②神奈川県内で、事業活動を行っている

【募集期間】 随時募集中

令和4年9月末現在
2111者(企業1990、団体109、学校12)
に登録いただいています。



3 プラごみ削減に向けた県の取組み

LINE公式アカウント「かながわプラごみゼロ情報」の開設(令和4年3月)

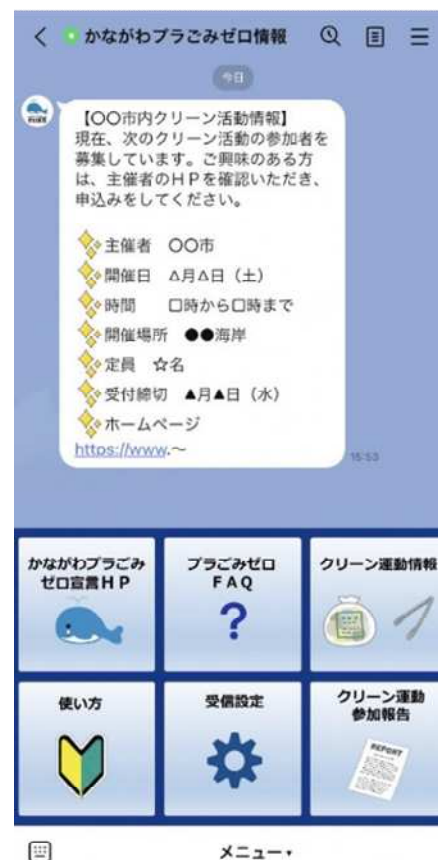
- プラごみゼロに関するお知らせ
 - クリーン活動情報
 - イベント情報
- を発信！

LINEアプリ「ホーム」の検索窓で、LINE ID「@kanagawa-gomizero」を入力し、LINE公式アカウントからタップして追加してください。

<アイコン画像>



<2次元コード>



参加実績の報告

クリーン活動やイベントの参加実績を報告することができます。今後、様々な活動に参加し、一定の回数の報告をしていただいた方を対象に、神奈川県から特典を贈呈する予定です。*特典は、抽選等により一部の方にしか贈呈できない場合もあります。



参加したクリーン活動やイベントについて入力してください。

必須 Q1 参加したクリーン活動又はイベント名

* 報告できるイベントは、神奈川県の上で開催予定を掲載しているものに限りです。

必須 Q2 開催日(参加した日)

ぜひ友だち追加をお願いします！

3 プラごみ削減に向けた県の取組み

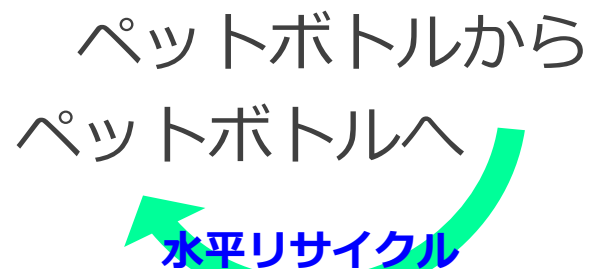
ペットボトルの再生利用の推進

■これまでのリサイクル



カスケードリサイクルはプラの品質が落ちるため
いずれは焼却等処理しなければならない

■水平リサイクル（ボトル(B) to ボトル(B)）



技術革新（再縮合重合反応）により
新たなプラ（石油由来資源）を
投入せずにペットボトルへのリサ
イクルが可能に → **CO2削減**

B to Bの推進において、回収時点に
おける**異物混入防止が何よりの課題**

3 プラごみ削減に向けた県の取組み

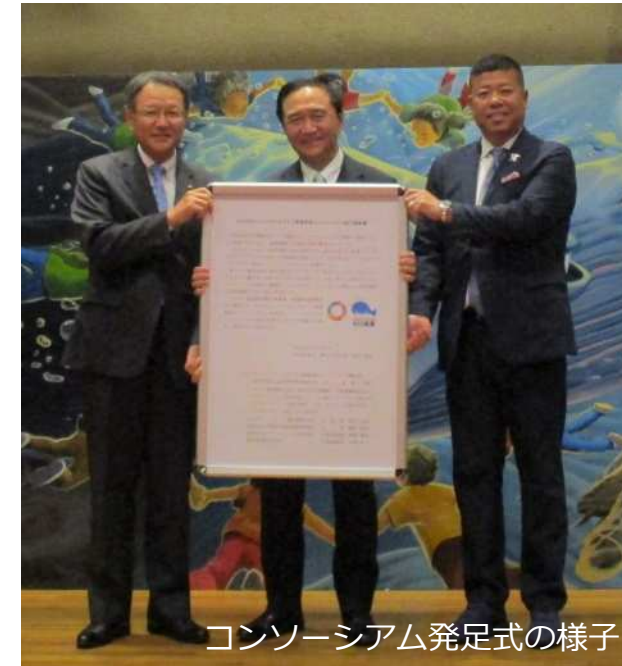
「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」の設立

神奈川県では、県民生活に最も身近なプラスチックであるペットボトルがペットボトルに繰り返し再生される社会を目指しています。

しかし、現状ではペットボトル本体とラベル・キャップの3分別が不徹底なこと等から、ペットボトル素材への再生利用は全国実績で12パーセントと低い状況にあります。

そこで、県では、清涼飲料業界、廃棄物処理業者の皆様と「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」を発足し、ペットボトルをペットボトルに再生利用するモデル事業の取組を、神奈川県から発信することとしました。

2020（令和2）年3月27日公表



【コンソーシアム構成メンバー】

[行政] 神奈川県（設立発起人）

[清涼飲料業界]（一社）全国清涼飲料連合会

[アサヒ飲料（株）、（株）伊藤園、大塚製薬（株）、キリンビバレッジ（株）、サントリー食品インターナショナル（株）、ダイドードリンコ（株）、日本コカ・コーラ（株）、ポッカサッポロフード&ビバレッジ（株）]

[小売業界] 日本チェーンストア協会関東支部

[処理業界]（公社）神奈川県産業資源循環協会

[再生事業者] 遠東石塚グリーンペット（株）、協栄産業（株）

3 プラごみ削減に向けた県の取組み

「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」による実証実験

B to Bの推進に向け、一般消費者、事業所従業員の行動変容について実験

実験の実施場所に、3分別に対応した回収ボックスを設置し、看板等で利用者への3分別の実施を呼びかけ、3分別の実施率を調査

①鉄道利用者を対象とした実証実験

小田急電鉄株式会社 本厚木駅 東口改札内



期間：2022（R4）年1月12日～2月28日
不特定多数の利用者を対象にした取組であったが、回収ボックスの工夫や、鉄道広告による周知等の結果、3分別率は、実証実験前の1%未満から、実施期間中は最大32%まで上昇

②事業所の従業員等を対象とした実証実験

河西工業株式会社 本社地区（寒川町）



期間：2022（R4）年1月24日～2月25日
事業者から従業員に3分別の実施を働きかけた結果、3分別率は、実証実験前の1%未満から、実施期間中は最大96%まで上昇

Kanagawa Prefectural Government

特に事業所において顕著な効果

3 プラごみ削減に向けた県の取組み

不法投棄対策の推進：ドローンを活用したスカイパトロール

2020（令和2）年1月からドローンを使用して上空からプラスチックごみを発見する「スカイパトロール」を開始しました。

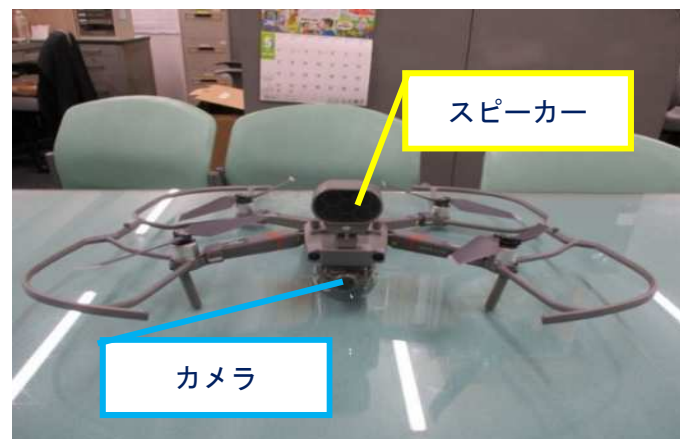
海洋プラスチックごみの多くが河川から海に流出したと言われており、**流出する前に早期に発見、回収に繋げることが重要**

【パトロール区域】

現在、相模川・中津川・金目川・水無川・酒匂川・葛川・目久尻川・葛葉川の8河川で実施

【音声による呼びかけ】

2021（令和3）年7月から音声発信機能付きドローンを活用して、バーベキュー利用者などに、ごみの持ち帰りを呼びかける取組を開始



3 プラごみ削減に向けた県の取組み

普及啓発

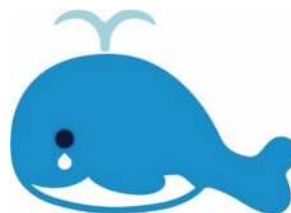
YouTube動画を作成し、鉄道社内広告等で周知



ロングバージョン（2分43秒）



<https://www.youtube.com/watch?v=YnEAK72Q6Gw>



ショートバージョン（15秒）



https://www.youtube.com/watch?v=Ffw_WABHXwM

3 プラごみ削減に向けた県の取組み



かながわプラごみゼロ宣言

クジラからのメッセージ

2018年夏、鎌倉市由比が浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。
神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組みます。2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、燃焼されるプラごみゼロを目指します。

LINE公式アカウント
かながわプラごみゼロ情報 で情報を発信しています！

友だち追加はこちらから!!
 @kanagawa-gomizero

問合せ先：神奈川県 環境農政部 環境部 資源循環推進課 電話：045-210-4147(直通)

チラシ



ステッカー

私たちの環境行動宣言かながわエコ10トライ

トライ! マイエコ10宣言《プラごみゼロ宣言バージョン》

プラスチックによる海洋汚染を防ぐため、16の「プラごみゼロ宣言」に関するメニューの中からできそうなことを10個選んでみましょう！そして、ぜひ実践しましょう！

①プラスチック製ストローの使用は控える	②マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない	③マイボトル、マイ箸を持ち歩く	④お店でプラスチック製スプーンなどをもらわない
⑤スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす	⑥ごみの少なくなるものを選んで買う	⑦食品の保存の際は、ふたつき容器を使う	⑧買い物の時には、簡易包装を頼む
⑨海岸などでのレジャーのあとは、ごみをもち帰る	⑩海岸などのごみ拾いに参加する	⑪使っているものの識別マークを確認する	⑫プラごみはルールに従って、分別して出す
⑬自分がどのくらいプラごみを出しているか考えてみる	⑭プラごみがどのようにリサイクルされるか調べてみる	⑮家族や友人にプラごみを減らすよう呼びかける	⑯プラごみによる海洋汚染について調べてみる

⑬HPからも啓発できます！「マイエコ10宣言HP」<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/jp4/cont/1360478/index.html>

マイエコ10宣言



エコバッグ

宣言日 (記入日)

年 月 日

氏名 (ニックネーム明)

お住まいの市町村

年代

～19・20～29・30～39
40～49・50～59・60～69
70～

メールアドレス (任意)

（署名）

（印鑑）

神奈川県 環境農政部 環境部 資源循環推進課

ペットボトルは **3分別**

「キャップ」と「ラベル」を分けるとリサイクルしやすくなります。回収ボックスが一つの時も、分別してから入れましょう！

みんなでめざそう! プラごみゼロ

STOP!! ポイ捨て

使い捨てマスクやレジ袋もプラスチック製です。ごみが、海や川に流れ、漂着しています。

特別：(請)では、リサイクルされない、燃焼されるプラスチックごみを毎日回収しています。かながわプラごみゼロ宣言

問合せ先：神奈川県環境農政部環境部資源循環推進課 TEL: 045-210-4147
 県庁西でのごみ処理場アークにてご意見を伺います。

鉄道広告

「かながわプラごみゼロ宣言」の新しい啓蒙はこちら

このキーホルダーは、物イートイカ党が店舗で回収したキャップと、多くの人が参加したクリーン活動で集めたキャップから作りしました。

この製品の売上げは再生素料を費用としています。

キャップをリサイクルして作ったキーホルダーです。かばんや自転車につけてね!

反射して光る!!

ペットボトルはボトル、ラベル、キャップに分別しよう!

反射材付きキーホルダー

- 1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題
- 2 かながわプラごみゼロ宣言
- 3 プラごみ削減に向けた県の取組み
- 4 条例の改正と計画の策定**
- 5 プラスチック資源循環法の施行

4 条例の改正と計画の策定

県では、2022（令和4年）年7月に
プラスチックに係る資源循環をより一層推進するため、
**「神奈川県資源の循環的な利用等の推進、廃棄物の
不適正処理の防止等に関する条例」** を改正

 県の責務として、計画の策定について規定



今年度、条例に基づき

「神奈川県プラスチック資源循環推進等計画」 ※
を策定予定

※現行アクションプログラムの次期計画

4 条例の改正と計画の策定

【計画素案の概要】

計画期間 2023（令和5）年～2027（令和9）年（5年間）

基本的な方針

「**かながわプラごみゼロ宣言**」の実現を目指すとともに、プラスチック資源循環法及び条例に基づく取組みを推進するため、県、市町村、県民、事業者が相互に連携しながら、それぞれの役割において、**プラスチックの3R + Renewable**に係る取組みを推進 Renewable : 再生可能な資源の活用

11月9日（水）までパブリック・コメントを実施中です。
ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

HPから意見
提出できます！

- 1 循環型社会づくりとプラスチックごみ問題
- 2 かながわプラごみゼロ宣言
- 3 プラごみ削減に向けた県の取組み
- 4 条例の改正と計画の策定
- 5 プラスチック資源循環法の施行**

5 プラスチック資源循環法の施行

国は2022（令和4）年4月に**プラスチック資源循環法**を施行



ワンウェイプラスチックの削減等に強制力！

法に基づく取組みも進み始めたところ



ご清聴、ありがとうございました。